

いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」とされております。

近年、外国人移住者増加に伴い、従来からお住まいの方も外国から移住された方も互いの文化的違いを認め、理解しあい、ともに生きていくということが重要になってきていることは言うまでもありません。

八百津町の現状は、平成28年度27世帯75人、平成29年度34世帯85人、平成30年度56世帯112人と年々増加傾向にあります。この増加傾向の要因は、町内企業への研修生であり、国籍につきましては、主なものとしてベトナム34人、フィリピン28人、中国18人、ブラジル11人、韓国8人などとなっています。

議員が言われました「地域住民とのトラブルを見聞きする機会が増えたように感じる」ことにつきましましては、各方面に確認したところ、町内の外国人移住者とのトラブルや外国人本人やその家族、企業などからの困りごと相談等の報告はありませんでした。

和知地区では、4月22日に開催されました協働のまちづくり事業「まちづくりの会・春のフリーマーケット」において、和知にお住まいのベトナムからの企業研修生の皆さんのダンスがフリーマーケットを盛り上げて

くれました。

研修生の皆さんも地域社会の構成員としての自覚を持って、まちづくりの会の皆さんとの交流も果たされておられます。

今後も日本経済は人手不足を補うためにアジア地域に求めていくことが考えられ、当町でもさらに外国人移住者が増えていくことが予想されます。

当町といたしましては、そのような変化などに注視しながら、議員ご指摘の異文化の相互理解や多文化共生に資する活動・啓発の必要性については、第5次総合計画で国際化への対応と交流活動の推進に揭げていますように、現在活動されている八百津町異文化交流サークルなどの町民の皆さんが主体的に国際化を進めていけるよう、国際交流の推進とともに多文化共生を支援してまいりたいと考えております。



和知地区 春のフリーマーケットの様子

視察報告

6月18日、中津川市加子母総合事務所を訪問し、加子母地域広報（放送）システムについての視察を行いました。

「NPO法人かしもむら」が事業主体となり運営を行っているもので、地域広報（放送）と生活支援機能が一緒になったシステムについての説明を受けました。

デジタル受信機を使用した音声放送や防災緊急放送、テレビに接続した文字放送や過去の放送などを聞くことができる機能などが備わっていました。

今後、自宅の受信機から加子母内の店で買い物ができるなど、買物・生活支援システムの導入を予定しているとのことでした。

高齢者の安否確認にも使用でき、さまざまな情報を共有することで地域の共生を育むことができるのではないかと感じました。



加子母総合事務所（6/18）



かしもデジタル受信機

可茂地域市町村議会議長会

5月18日、第39回可茂地域市町村議会議長会議がシティホテル美濃加茂で開催されました。

これは可茂地域（2市7町1村）の議会議長が集まり、協同して地域の交流発展に寄与するとともに、相互の意思疎通を図ることを目的として毎年開催されているものです。

この日は、平成29年度会務報告、平成29年度歳入歳出決算、平成30年度歳入歳出予算案、次期役員及び開催地の決定などを協議しました。

会議終了後、「リバーポートパーク美濃加茂」の現地視察があり、かわまちづくり事業として整備された中之島公園整備事業についての説明や現地施設の見学が行われました。

加茂郡消防操法大会

6月24日、第62回加茂郡消防操法大会が坂祝町総合運動場で開催されました。

八百津町からは、第5分団福地班が小型動力ポンプの部に出場し、入賞は果たせませんでした。が、町消防団員や議会議員の皆さんからは、温かい拍手や声援が送られていました。



郡消防操法大会での福地班（6/24）

福地「ふらむら」開村式典

5月20日、福地いろどりの家周辺で福地「いろどりむら」開村式典がありました。むらおさの佐々木さんから、開村にいたるまでの経過報告と今後の展望についての話や一五一会サークルによる演奏会、記念植樹等が行われました。

